

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本版DMOの連携による新たな伊那路・木曽路広域連携事業
事業主体 (連絡先)	伊那路・木曽路広域観光連携会議 (代表者：伊那路観光連盟会長白鳥孝) 会計責任者名(注)：駒ヶ根市観光推進課観光係 黒河内 英樹
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,804,894 円 (うち支援金：1,443,000 円)

事業内容

- ① 滞在型観光促進のための総合観光イベント出展
「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪」出展
 - ・期 日 令和元年 10 月 24 日 (木) ～27 日 (日)
 - ・場 所 インテックス大阪
 - ・出 展 2 小間
- ② 伊那路木曽路広域観光連携促進フォーラム開催
 - ・期 日 令和 2 年 2 月 17 日 (月) 14:00～
 - ・会 場 木曽町文化交流センター
 - ・内 容 基調講演・パネルディスカッション



【ツーリズム EXPO ジャパン】

事業効果

- ① 「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪」出展
国内最大級の総合観光イベントツーリズム EXPO ジャパンに、長野県出店企画と連携した出展を行うことにより、当エリアとしての魅力と存在を多いにアピールする機会となった。
 - ・長野県ブース来場者数 合計 16,777 人
 - ・商談会マッチング数： 45 (伊那路・木曽路分)
 - ・PR ブース試飲・試食： 10 品目提供
- ② 伊那路木曽路広域観光連携促進フォーラム開催
エリア内のDMO関係者、観光事業者の他、地域の多様な関係者が一同に会して、DMOなど次の時代の地域活性化を担う民間のリーダーの皆様と共に、「稼ぐ力を生み出す広域連携のあり方」について検討を行う機会となり、DMOによる新たな広域連携に向けた意識の共有と連携強化が図られた。
 - ・フォーラム参加者 114 名

【目標・ねらい】

- ① 長野県と連携した広域的かつ効果的な観光誘客促進
- ② DMO 連携による広域観光圏としての戦略や将来を見据えた事業展開を探る

※自己評価【A】

【理由】

広域連携による誘客イベント出展やフォーラムを開催したことで、DMO 連携による新たな広域観光の仕組みづくりに向けた意識共有が図られた。

今後の取り組み

これまでの誘客促進活動や様々な事業展開の取り組みを活かし、更に広域観光圏としての魅力を最大限に引き出すための事業推進を図るとともに、地域間で連携した新たな旅行商品の造成や、受入環境整備を進め、DMOを中心とした新たな広域連携の仕組みづくりを行うことで、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道路の開通を見据えた、交流人口の拡大へと発展させていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある